

There are real indignities and real problems when all facets of life are controlled —when to get up, to eat, to shower— and chemicals are inside our bodies against our will.

Nothing About Us Without Us
!!!

精神障害者の意思決定支援

これは、闘う精神障害者の話である。

オランダのセルフヘルプの実践

2015年7月24日

OPEN —12:30 START —13:00

キャンパスプラザ京都 6階 第1講習室





今、精神医療の現場では、長期在院者の地域移行と非自発的入院・隔離・身体拘束が年々増加していることが課題とされています。
オランダでは、精神障害者のセルフヘルプ運動の提言によって、非自発的入院の計画的・段階的な削減に向けた政策が実施されています。
その中心にある支援は、「ファミリーグループカンファレンス」という意思決定支援の実践です。
現在、障害者総合支援法・精神保健福祉法改正付帯決議で注目されつつある意思決定支援について考える場になればと思います。
みなさまの参加をお待ちしております。




7 / 24 (金)

12:30～ 受付開始
13:00～ はじまりの挨拶
13:05～ オランダの精神障害者の活動について
講師：jolijn santegoeds (ヨラーン)
15:00～ トークセッション (交流会)
池原毅和氏、関口明彦氏を交えて
16:00～ おわりの挨拶 閉会





 参加費  無料

興味がある方も、ちょっと気になった方も、どなたもぜひお気軽にご参加ください！

 場 所

キャンパスプラザ京都 6階
第1講習室

 京都市下京区西洞院通塩小路下る
東塩小路町 939

 京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、
JR各線「京都駅」下車。徒歩5分。



jolijn santegoeds

ヨラーン

1978年生まれ
精神障害当事者

★WNUSP 共同議長
★ENUSP 理事

16歳の時に精神病院に強制入院。
2年間も保護室に監禁され、さらに全裸での身体検査や身体拘束をされた体験者です。2003年から強制医療に反対する活動を始め、地域で強制入院をなくしていくために日々取り組んでいます。



★WNUSP 世界精神医療ユーザー・サバイバーネットワーク
★ENUSP ヨーロッパユーザー・サバイバーネットワーク



関口 明彦
(せきぐち あきひこ)
精神障害当事者
全国「精神病」者集団 運営委員
精神障害当事者の運動をしています。

池原 毅和
(いけはら よしかず)
弁護士
精神障害者の人権問題に
取り組んでいます。



主催 生存学研究センター
立命館大学生存学研究センター事務局 / TEL: 075-465-8475 FAX: 075-465-8245
E-mail: ars-vive@st.ritsume.ac.jp

後援 京都ユーザーネットワーク、京都精神保健福祉士協会、京都精神保健福祉施設協議会
京都精神保健福祉推進家族会連合会、京都精神診療所協会、
病棟転換型住居を考える京都実行委員会